さいたま市立桜木中学校　学校だより　　第　９　号　令和６年１月９日　発行

さくらぎ

〒330-0854　さいたま市大宮区桜木町４－２１９
ＴＥＬ　０４８－６４１－０４５９
ＦＡＸ　０４８－６４５－４５８４
Ｅ-mail　sakuragi-j@saitama-city.ed.jp

学校教育目標「溢れる英知　輝く笑顔」～学習いっぱい　優しさいっぱい　元気いっぱい～

自分をコントロールする力、自分で考える力

校　長　　清水　一司

２０２４年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げますとともに、このたび能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

我が家では、「東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）」を観て過ごすことが正月の恒例行事となっています。この箱根駅伝の最大の見どころは山登りの５区でしょう。これまでに「山の神」と呼ばれる数々の名ランナーが誕生しています。埼玉県出身で２０１７年から法政大学の選手として４年連続で箱根駅伝に出場した青木 涼 真（あおきりょうま）選手もその一人です。青木選手は２年生の時に５区を１時間１１分４４秒で走り、区間賞を獲得し「新・山の神」と呼ばれました。当時の青木選手が通うキャンパスは陸上部のグラウンドがあるキャンパスから１時間半の距離にありました。そのため青木選手は他の陸上部員と同じ練習ができず、練習内容は本人の裁量に任されていたそうです。しかし、練習内容が本人の裁量ということは結果も自分で責任を負うことになります。こんな厳しい環境にあっても、４年連続で箱根駅伝のメンバーとして活躍した青木選手の努力は相当なものだったと思います。

話は変わりますが、元ＭＬＢ選手でプロ野球選手でもあったイチロー氏が、高校野球の指導について次のように語っています。

> 高校生で自分を導くのは難しい。（中略）導いてくれる人がいないと楽な方に行くでしょ。（中略）厳しくできる人間と自分に甘い人間、どんどん差が出てくる。（中略）酷なことなのよ。高校生たちに、自分たちに厳しくして自分たちでうまくなれって。（中略）ある時代まではね、遊んでいても勝手に監督・コーチが厳しいから全然できないやつがあるところまでは上がってこられた。（中略）でも、今は全然できない子は上げてもらえないから。上がってこられなくなっちゃう。（２０２３年１１月６日付　スポニチアネックス）

イチロー氏の言葉は野球に限った話ではなく、あらゆる教育活動にも通じます。自分をコントロールすることが難しい年頃の子どもや、自分で考える力が十分に育っていない子どもに「自分に厳しく、自分でやりなさい。」と言っただけでは勉強や運動ができるようになりません。自分をコントロールする力や自分で考える力をどのように引き出して育てるのか…。これは学校教育の永遠の課題なのかもしれません。

さて、青木選手はその後実業団チームに所属し２０２１年の東京五輪男子３０００ｍ障害に日本代表として出場しています。厳しい環境を乗り越えてオリンピアンになれた青木選手には、自分をコントロールする力や自分で考える力があったのでしょう。子どもたちには青木選手の生き方に学んでもらいたいと思います。